

基準7 学生支援等

(1) 観点ごとの分析

観点7-1-①： 学習を進める上でのガイダンスが整備され、適切に実施されているか。また、学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

本科(準学士課程)入学生に対して、1泊2日の「新入生オリエンテーション」を開催して各学科や授業内容のガイダンスを行う(資料7-1-①-1)とともに、学生相互及び教職員の親睦を図っている。本科3年生までの低学年では毎週「特別活動」の1単位があり、必要に応じて担任による学習のアドバイスが行われている。

資料7-1-①-1

「新入生オリエンテーション時の説明資料(抜粋)」

教務(主に勉強)の話

- (Ⅰ)福井高専の特徴
- (Ⅱ)義務教育から高等教育へ
- (Ⅲ)基本理念、教育方針・目標等
- (Ⅳ)成績評価・進級認定
- (Ⅴ)学習の仕方など

教務主事

本校の基本理念

- * 創造性豊かな人材を育成する
- * 幅広い工学的素養、基礎能力及び応用力の育成を目指す実践教育を行う
- * 高度に情報化した国際社会に対応する教育を行う
- * 環境を意識し、地域社会に根ざしたものづくり教育を行う
- * 地域と連携した産官学共同研究の推進を図る

本校の教育方針

- * 技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる
- * 個性を伸ばし、独創的能力の開発に努力する
- * 教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する
- * 健康の増進に努め、身体的精神的に強靱な耐久力を育成する
- * 規律ある日常生活に徹し、明朗、闊達な資性の涵養を図る

全教室に掲示

福井高専の学習・教育目標

- RA: 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。
- RB: 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。
- RC: 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。
- RD: 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。
- RE: 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。

養成すべき人材像

本校は
優れた実践力と
豊かな創造性を備え、
国際社会で活躍できる技術者
を育てます

(出典 学生課)

新学期のすべての最初の授業では、その科目のシラバスを用いてガイダンスを実施している。これにより、学生は科目の学習目的・学習方法・スケジュールが確認できる。これらの情報はホームページからも検索閲覧が可能となっている(資料7-1-①-2)。

「授業内容（シラバス）」

学校案内	学科紹介	入試情報	中学生の方へ	企業の方へ	在学生の方へ	卒業生の方へ
------	------	------	--------	-------	--------	--------

HOME > 在学生の方へ > 授業内容（シラバス）

授業内容（シラバス）

平成24年度（2012年度）

- 本科および専攻科における開講科目のシラバス
 - ・ シラバス検索システム

平成23年度（2011年度）

- 本科および専攻科における開講科目のシラバス
 - ・ シラバス検索システム
- 本科シラバスの解説
 - ・ はじめに、履修単位と学修単位について
 - ・ 各学科の学習・教育目標と科目の配置、教育課程表
 - ・ 「環境生産システム工学」教育プログラムについて
- 専攻科シラバスの解説
 - ・ 概要、環境生産システム工学、教育課程表、学習・教育目標、系統図など

在学生の方へ

- 行事予定
- 指導方針
- 進学について
- 就職について
- 授業料免除・奨学金
- 授業内容(シラバス)
 - オフィスアワー
 - ト 機械工学科
 - ト 電気電子工学科
 - ト 電子情報工学科
 - ト 物質工学科
 - ト 環境都市工学科
 - ト 一般科目教室
 - 教育改善

（出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/student/syllabus.html>）

学生からの質問などに答えるために、各教員はオフィスアワーを設け、各学科・教室のホームページに電子メールアドレスなどと共に記載している（資料7-1-①-3）。

「電子情報工学科・2012年度 前期オフィスアワー」

斉藤 徹 t-saitoh@ei.fukui-nct.ac.jp						
	月	火	水	木	金	オフィスアワー
	～8:55					月曜日
1	8:55～9:45	実験	講義		演習	8限目(16:00-17:00)
2	9:50～10:40	実験	講義		演習	電子情報棟3F
3	10:50～11:40	実験		講義	講義	担当科目
4	11:45～12:35	実験		講義	講義	プログラミング応用、情報構造論、創造工
	12:35～13:20					学演習(前期)、データベース、5年実験(前
5	13:20～14:10			講義	卒研	期)、2年実験(後期)
6	14:15～15:05			講義	卒研	担当専攻科
7	15:10～16:00	卒研			卒研	計算機システム(後期)、オブジェクト指向プ
8	16:05～16:55	OH			会議	ログラミング(前期)、1PS実験(後期)
	16:55～17:30	OH			会議	最終更新:2012/03/28

（出典 本校ホームページ <http://www.ei.fukui-nct.ac.jp/officehour.php>）

（分析結果とその根拠理由）

各授業の最初にはシラバスを示しながら、各授業の目的・学習法を説明している。学生の自主的学習に対応するために、教員はオフィスアワーを設定し、多くの学生が質問や相談に訪れている。これらの成果により、最近5ヶ年間の本科卒業生の内、進学者は約5割を維持するとともに、就職の求人倍率及び就職内定率も好調である。

観点7-1-②： 自主的学習環境及び厚生施設，コミュニケーションスペース等のキャンパス生活環境等が整備され，効果的に利用されているか。

（観点に係る状況）

学生の自主的学習環境としては，「総合情報処理センター」，「図書館」等があげられる。

総合情報処理センターには，演習室が4室あり，そのうち3室は1クラスの学生数を超える台数のパソコンが設置されている。パソコンはすべてネットワークに接続されており，教材資料の閲覧や学生の達成状況も把握できる学習支援システムが利用でき，多くの学生に利用されている（資料7-1-②-1～3）。

資料7-1-②-1

「演習室の利用時間・利用手続き」

演習室の利用時間

- 第1、第2、第3、及び第4演習室（環境都市工学科棟3階ものづくりアトリエ）の利用時間は
月～金 8：55～17：00（休日は除く）
です。
- 授業で利用していない時（使用可能時間）は，一般利用できます。
- 授業の都合で使用していないときは使用して構いません。
- 定期保守、センター作業、長期休業、学校行事等で閉室とすることがあります。
- 第1と第2演習室については，上記の時間を超えて利用することが出来ます。「[演習室の時間外利用手続き](#)」を参照してください。

利用手続き

- 本校の学生・教職員はセンターを利用できます。センターで運用しているサーバ、パーソナルコンピュータ等を利用するには **利用申請書** に必要事項を記入して、センター管理室に提出して下さい。利用登録終了後、教職員の場合は本人宛に、学生の場合は指導教員宛に「利用者登録通知書」にてお知らせします。
- 学生の利用期間は年度末までです。次年度も利用する場合は、再度利用申請を行って下さい。同じ利用者IDで利用できます。

学生・教職員		利用申請手続き	利用期間
学生	授業での利用	クラス毎に利用登録をします。個人での利用申請は必要ありません。利用登録が終了すると授業担当教員にお知らせします。	年度末まで
	卒業研究での利用	利用者が 利用申請書 を管理室に提出して下さい。利用登録が終了すると管理室から指導教員にお知らせします。	
	その他	個人利用がこれに含まれます。利用者が 利用申請書 を管理室に提出して下さい。利用登録が終了すると、管理室から指導教員にお知らせします。	
教職員		利用者が 利用申請書 を管理室に提出して下さい。利用登録が終了すると管理室から本人宛にお知らせします。 利用しなくなった場合は、利用解除届を提出して下さい。	

（出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/~ip/riyou.html>）

資料7-1-②-2

「総合情報処理センターの時間割」

□演習室の時間割

平成24年度【前期】

曜日	時限	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
月	1	3E 情報処理Ⅱ		5Ei 電子情報工学実験Ⅳ	4B コンクリート構造学Ⅰ
	2	1ALL ものづくり科学			5B 構造デザイン
	3				
	4				
	5	3M C言語応用	5M 機械工学実験Ⅱ	3C 情報処理演習	4B 環境都市工学設計製図Ⅳ
	6			使用可能	使用可能
	7				
	8	使用可能	使用可能		
曜日	時限	第1演習室	第2演習室	第3演習室	第4演習室
火	1	4Ei 電子情報工学実験Ⅲ	使用可能	2E 情報処理Ⅰ	4M 知能機械演習
	2			5B 水文学	
	3				
	4				
	5	5E 現代制御工学	3M 創造工学演習	4C 情報科学	3B 環境都市工学設計製図Ⅱ
	6	1F4 コンピュータ科学入門		1F3 コンピュータ科学入門	5B 数値解析
	7				
	8		使用可能		

(出典 総合情報処理センターホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/~ip/riyou2.html>)

資料7-1-②-3

「平成23年度総合情報処理センター 時間外利用状況」

表3 時間外利用状況(平成23年1月～12月) ※12月14日現在

月	人数(人)	利用日数	利用時間(各演習室の合計)
1	196人	15日	66時間00分
2	140人	12日	59時間00分
3	19人	8日	38時間00分
4	27人	6日	15時間00分
5	369人	21日	95時間30分
6	223人	22日	89時間00分
7	235人	19日	99時間00分
8	94人	5日	37時間00分
9	8人	2日	7時間30分
10	223人	18日	84時間20分
11	372人	20日	107時間30分
12	139人	9日	49時間00分
合 計	2047人	157日	746時間40分
月平均	170人	13日	62時間20分

(出典 総合情報処理センター)

図書館は、学習に必要な専門図書をはじめ、一般教養図書及び新聞・雑誌を多数備えている。平日は20時まで、土曜日は16時30分まで開館しており、静かな学習環境として広く利用されている。
(資料7-1-②-4, 5)

資料7-1-②-4

「図書館利用案内2012(抜粋)」

2. 開館時間

平日	8:30 ~ 20:00	(学寮閉寮期間については、平日8:30~17:00)
土曜日	9:00 ~ 16:30	(学寮閉寮期間は、休館)

3. 休館日

日曜日、国民の祝日(その日が日曜日にあたる場合は、その翌日)、高専祭行事期間中、年末年始(12月28日から翌年1月4日まで)、その他館長が必要と認めた日

(出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/~tosyo/guide/guide2012.pdf>)

資料7-1-②-5

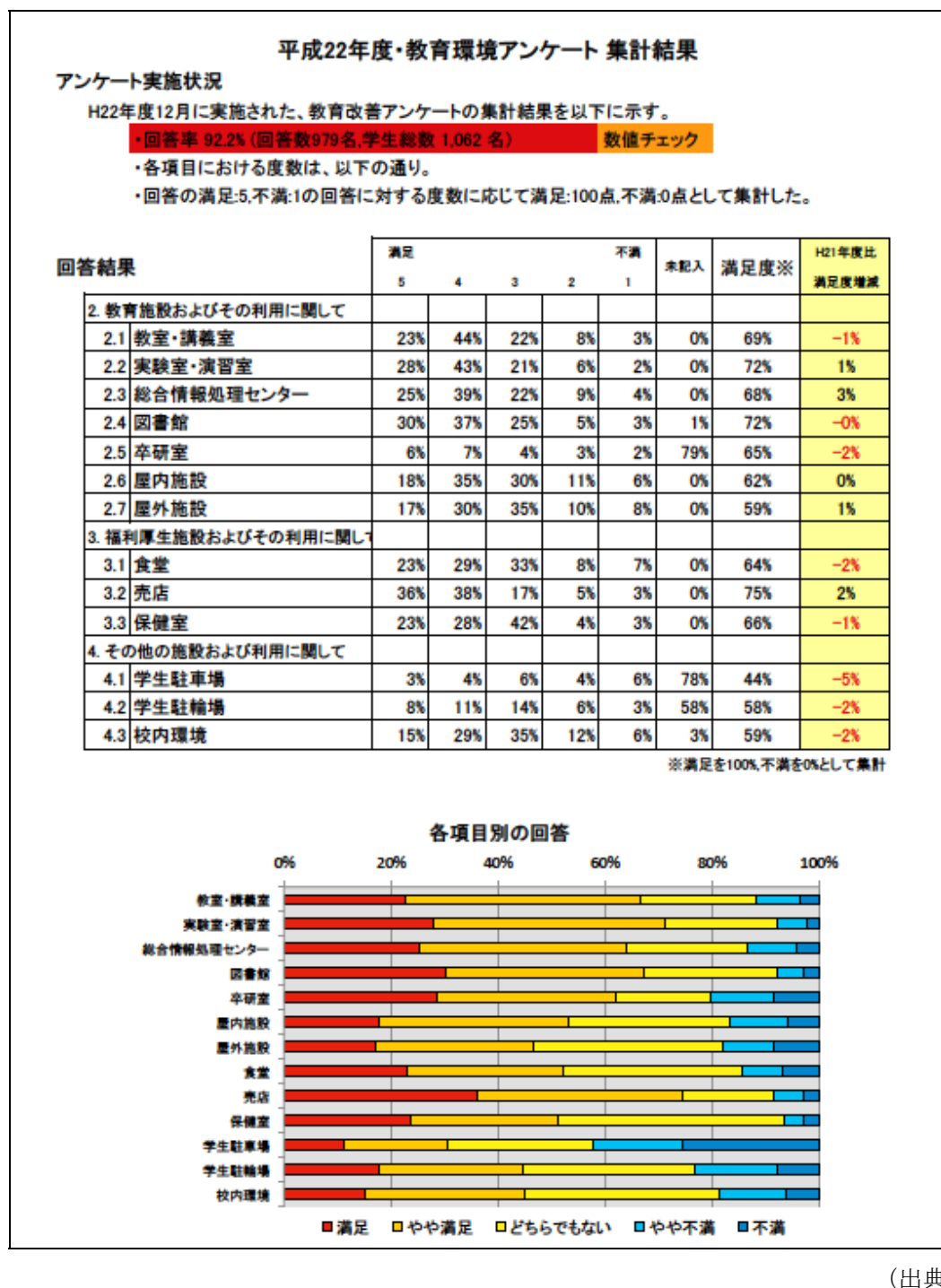
「平成23年度入館者及び貸出冊数統計」

入館者及び貸出冊数 統計						
月	平成22年度			平成23年度		
	開館日数	入館者数	貸出冊数	開館日数	入館者数	貸出冊数
4	23	4,729	1,083	25	4,772	1,013
5	23	5,410	956	23	5,827	990
6	26	6,990	1,127	26	6,770	974
7	26	6,588	1,059	26	6,957	862
8	18	2,916	598	17	2,474	493
9	17	1,784	339	16	1,556	343
10	23	4,770	813	23	4,350	852
11	24	5,283	885	24	5,617	566
12	20	4,231	882	20	4,200	759
1	20	3,919	656	20	4,088	612
2	23	5,497	627	23	5,721	633
3	20	2,259	339	20	2,243	241
計	263	54,376	9,364	263	54,575	8,338

(出典 図書館)

平成22年度の全学生を対象にした「教育環境アンケートのまとめ」(資料7-1-②-6)によれば、先に示した自主的学習環境はどれも、満足度が65%を超えている。教育環境アンケートは毎年度実施され、教務委員会、補導委員会、図書委員会などの関係委員会によって審議し対策を講じている。平成21年1月からの校舎改修工事の終了により教育環境については大きく改善され、要望の高かった教室の空調設備も整えられた。

「平成22年度・教育環境アンケート 集計結果（抜粋）」



(分析結果とその根拠理由)

情報処理施設、図書館は毎日多くの授業に使用され、さらにこれらは放課後の自主学習にも毎日多くの学生が利用している。特に平成21年度からの校舎改修により、教育環境も大きく改善された。

学生の生活を支援する学寮・食堂・売店なども設置されている。学生を対象とした教育環境アンケート調査も毎年行なっており、できる箇所等から学生の要望に応じた設備の充実を行なっている。

観点7-1-③： 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されているか。また、資格試験や検定試験の受講、外国留学のための支援体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

本校では、学科の専門科目や一般科目において、将来の進路を見据えたキャリア教育と連携をとりながら、将来必要となる知識分野や資格などの重要性や有用性を学生に啓発している。そして関連した資格試験の受講案内や講習会の情報を学生向け掲示板に示し、受験希望者には補講・講習会・アドバイスといった支援を行ない、数多くの学生が資格を取得している。

(資料7-1-③-1～3)

資料7-1-③-1

「平成23年度資格取得者一覧(速報・判明分のみ)」

(24)

青武台だより

活躍する仲間

平成23年度 資格取得者一覧 (速報・判明分のみ)

本 科 生

資格名	氏名	学年学科	氏名	学年学科	氏名	学年学科	氏名	学年学科
CAD利用技術者試験2級		4M		4M		4M		4M
		4M		4M		4M		4M
		3B		4B				
機械設計技術者試験3級		4M		4M		4M		4M
		4M		4M		4M		4M
		4M		4M		4M		
デジタル技術2級情報		4E		4Ei		4Ei		4Ei
		4Ei		4Ei		4Ei		4Ei
		4Ei		4Ei		4Ei		4Ei
		5Ei						
デジタル技術3級制御		4E						
第三種電気主任技術者		5E		5E				
第二種電気工事士		3E		4E		4E		
乙種第4類危険物取扱者		4E						
基本情報技術者試験		5E						
エックス線作業主任者		5E		5E		5E		5E
		5E		5E				
測量士補試験		3B		3B		3B		

専 攻 科 生

資格名	氏名	学年専攻	氏名	学年専攻	氏名	学年専攻	氏名	学年専攻
デジタル技術2級情報		2PS						

(出典 学生課)

資料7-1-③-2

「2011年度第3回STEP英検合格者数(2012年1月21日実施)」

2011年度第3回STEP英検合格者数(2012年1月21日実施)

	1年	2年	3年	4年	5年
準2級	10	9	13		
2級			1	2	

(出典 英語科)

資料7-1-③-3

「乙種全類取得者表彰者数内訳」

乙種全類取得者表彰者数内訳(年度・学校別)
平成23年10月現在

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
福井工業高等専門学校	26	16	8	37	14	14	7	12	6	10	12	15	9	24	8	7	5	1	231
若狭東高等学校				6	5	4	5	7	3	1	1		2	2	2	1	1		40

(出典 物質工学科)

資格取得などを支援するために、専門科目では学科を中心に担任などから、試験開催を周知している。掲示は、本校正規の掲示板に加え校内4ヶ所のインフォメーションパネル、教室内掲示によって行なっている。(資料7-1-③-4)

資料7-1-③-4

「電子情報工学科掲示板」



(出典 電子情報工学科)

さらに専門の資格試験では各学科で必要に応じて補講を行い、本校が試験会場とするなど利便性を向上させて支援を行なっている。例えば物質工学科では、1年より危険物取扱主任者の資格試験を奨励し、正規授業の中に一部を取り込む形で対策を行い、不足分は放課後の補習や試験直前の対策補講にて補っている。（資料7- 1- ③- 5, 6）

資料7- 1- ③- 5

「物質工学科での危険物資格試験の取り組み」

危険物資格試験

試験実施

6月、10月、2月に各1回受験

講義

ものづくり科学の1部分として行われている。

スケジュール 24年度

- √ 4月9日 試験ガイダンス
- √ 4月11日 講義(危険物の性質・第1類～第6類危険物)
- √ 4月16日 講義(危険物の性質・第4類危険物)
- √ 4月18日 講義(消火)
- √ 4月23日 講義(法令)と性質・消火まとめの小テスト、合格点に満たない学生はその日の放課後補習・
- √ 5月 2日 講義(法令)と前回講義の小テスト
- √ 5月7日 講義(法令)と前回講義の小テスト
- √ 5月9日 講義(物理と化学の基礎)と前回講義の小テスト、合格点に満たない学生はその日の放課後補習・
- √ 5月14日 講義(物理と化学の基礎)と前回講義の小テスト、合格点に満たない学生はその日の放課後補習・
- √ 5月21日 講義(法令)
- √ 5月28日 前回講義の小テスト、合格点に満たない学生はその日の放課後補習・
- √ 6月4日 模擬試験(若しく点数低い学生補習)。
- √ 6月12日 模擬試験(若しく点数低い学生補習)。
- √ 6月13日 模擬試験(若しく点数低い学生補習)。

- 6月16日(土)10時～ 勉強会。
- 6月17日 危険物資格試験

(出典 物質工学科)

「平成24年度危険物取扱者試験実施予定表」

平成24年度 危険物取扱者・消防設備士 試験 実施予定表(案)					
◎ <危険物取扱者>			(財)消防試験研究センター 福井県支部		
試験日	受付コード	試験会場	開始時間	種 類	受付期間
第1回 6月17日 (日)	003	サンドーム福井管理会議棟	10:00	乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	平成24年 5月2日(水) ～5月11日(金)
	004	若 扶 消 防 本 部	14:00	乙種4類・丙種	
	561	福井工業高等専門学校	10:00	乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	
	562	科学技術高等学校			
	563	坂井農業高等学校			
	564	春江工業高等学校			
	565	大野東・奥越明成高等学校	10:00	乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	
	566	武生工業高等学校			
	567	敦賀工業高等学校			
	568	若狭東高等学校			
	573	福井高等学校			
	001	福井工業大学	10:00	甲種・乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	
第2回 10月21日 (日)	002	敦賀美万消防本部	10:00	乙種4類	平成24年 9月7日(金) ～9月13日(木)
	572	福井県消防学校	10:00	乙種4類	
	001	福井商工会議所	10:00	甲種・乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	
	004	若 扶 消 防 本 部	14:00	乙種4類・丙種	
	005	大 野 市 消 防 本 部	10:00	乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	
	561	福井工業高等専門学校	10:00	乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	
	001	福井商工会議所	10:00	乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	
	002	敦賀短期大学	14:00	乙種4類・丙種	
			10:00	乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	
	003	サンドーム福井管理会議棟	10:00	乙種1・2・3・4・5・6類・丙種	
第2回 10月28日 (日)			14:00	乙種4類・丙種	

(出典 物質工学科)

英語検定関係については、実用英検・工業英検・TOEIC・TOEIC-IPなどの説明を行い、希望学生の把握及びガイダンスを行い、資格取得の支援にあたっている。特に、TOEIC-IP試験は本校内で実施している。資格を取得した学生については、本校の内規である「教務に関する申し合わせ事項」第24（資料7-1-③-7）のように単位認定が明記され、正規の単位への振替制度がある。

資料7-1-③-7

「第24 技能審査の合格による単位の修得認定に関する事項」

第24 技能審査の合格による単位の修得認定に関する事項

(平成6年12月15日制定)

1 技能審査の定義

「技能審査」とは、福井工業高等専門学校学則（昭和40年規則第1号）第15条の3第1項に定める学修に基づくもので、文部省告示第85号（平成3年6月28日）第4項に規定する学修のうち、本校において次のものをいう。

ア 実用英語技能検定（以下「実用英検」という。）

イ 工業英語能力検定（以下「工業英検」という。）

2 技能審査の合格による認定単位数

(1) 技能審査に係る次の審査基準（級）に合格した者には、単位の修得を認定し、修得を認定する単位（以下「修得認定単位」という。）は、審査基準（級）に対応するそれぞれの単位数とする。

ア 実用英検の合格による認定単位数

審査基準（級）	準2級	2級	準1級	1級
単位数	1	2	4	6

イ 工業英検の合格による認定単位数

審査基準（級）	4級	3級	2級	1級
単位数	1	2	4	6

(2) (1)において、実用英検にあつては審査基準（級）の準2級、工業英検にあつては審査基準（級）の4級については、第3学年までに合格した者に限るものとする。

(3) 技能審査に合格し、単位の修得を認定されている者が当該技能審査に係る上位の審査基準（級）に合格した場合は、当該審査基準（級）に対応する単位数と既に認定されている修得単位数との差を修得単位数として認定する。

(4) 修得認定単位は、認定された日に在籍する学年の修得単位とする。

(5) 修得認定単位は、卒業要件の修得単位数に含めないものとする。

(平成18.5.25)

3 修得認定単位に係る科目名

修得認定単位に係る科目名は、実用英検にあつては一般科目の「実用英語技能検定〇級」と、工業英検にあつては専門科目の「工業英語能力検定〇級」とする。ただし、両科目とも選択科目とする。

(出典 学生課)

本校では、学則第26条の2において学生の外国留学のため規則を定めている（資料7-1-③-8）。本科生の外国留学はその目的に関して、国外の学校における教養・専門分野の学習と、特に語学研修に特化したものの2種類がある。前者においては、学則26条の2において扱いが規定され、外国での修得単位のうち30単位を限度として本校卒業単位として認めることができる。

資料7-1-③-8

「学則 第26条の2」

略

第26条の2 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が外国の高等学校又は大学に留学することを許可することができる。

2 校長は、前項の規定により留学することを許可された者について、外国の高等学校又は大学における履修を本校における履修とみなし、30単位を超えない範囲で単位を認定することができる。

3 校長は、前項の規定により単位の修得を認定された者について、学年の途中においても、各学年の課程の修了又は卒業を認めることができる。

4 前3項に関し必要な事項は、別に定める。

略

（出典 学生課）

語学研修を目的とした留学では、主に英語科の教員が授業の中で各種制度を紹介し、興味を示した学生に対して詳しい内容を説明すると共に、実際の手続きに関して支援を行なっている。留学中の連絡や、復帰後のフォローも担任・英語科教員が連携を取りながら実施をしている。平成17年度からは、オーストラリア・メルボルンの総合大学であるBallarat大学と相互交換留学生制度を締結し、隔年で実施しており、毎回数名の学生が参加している（資料7-1-③-9）。

「バララット大学交換留学生の報告会を実施しました」



独立行政法人 国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校 FUKUI NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

学校案内	学科紹介	入試情報	中学生の方へ	企業の方へ	在学生の方へ	卒業生の方へ
------	------	------	--------	-------	--------	--------

HOME > 学校案内 > ニュース速報

ニュース速報
2011.06.02

◀ 前のページに戻る

バララット大学交換留学生の報告会を実施しました



6月1日(水)に本校大講義室において、平成23年3月20日から2週間の日程で、短期留学に参加した本科生9名と引率教員2名による報告会を実施しました。

報告会では、まず学生の代表の西山さんが堂々とした英語で、英語研修やホームステイでの感想や今後の抱負を述べました。続いて、観光、英語研修、現地学生との交流や文化交流、ホームステイの4つの部門に分かれた学生が、スライドで紹介しながら流ちょうな英語で報告を行いました。会場からは、2週間という短期間にもかかわらず、英語で行ったプレゼンテーションに賛辞の拍手がわきおこりました。また、引率教員からは、現地の大学での学生たちの熱心な取り組みの様子や受入状況の紹介があり、学生にとって大変有意義な制度であることから、今後の改善点を加え継続していきたい旨の報告がありました。

最後に、校長先生より講評があり、結団式の時に抱いた期待以上のものを得て帰ってきた学生に「皆さんが大変貴重な体験をしてきたことに荣誉をたたえます。」と英語で感想を述べられました。

学校案内

学校紹介

校長からの挨拶

本校の使命
└ 各学科の目的
└ 専攻科の目的

沿革

組織

校章・校歌・ロゴマーク

資料集

キャンパスマップ

キャンパスマップ(動画編)

ニュース速報

トピックス

施設紹介

図書館 

創造教育開発センター 

総合情報処理センター 

地域連携テクノセンター 

教育研究支援センター 

学生相談室 

青武寮 

アクセス

交通アクセス

高専の周辺地図

教員公募

(出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/info/news/detail.php?id=347>)

(分析結果とその根拠理由)

専門の科目及び一般科目において教員が様々な資格について啓蒙し、その情報は学生向け掲示板より具体的な情報を提供している。興味を持った学生は、希望に応じて補講などのサポートを受けながら資格取得に励んでいる。海外学生交換留学生の支援制度もあり、留学を希望する学生の海外への視野拡大の手助けとなっている。

観点7-1-④： 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援体制が整備されているか。また、必要に応じて学習支援が行われているか。

（観点に係る状況）

本校では「特別支援室規則」（資料7-1-④-1）に基づき、心身に障害を有し、支援が必要と認められる学生に対して、副室長（学生相談室長）、当該学生の学級担任及び学生所属の学科長等をメンバーとした支援体制を、該当者毎に個別に設け、対応を行なっている。平成24年度には身体障害の学生についても特別支援室にて対応をとるべく規則の改正を行なっている。（資料7-1-④-2）。また、特別支援室からの要請を受け学校設備のバリアフリー化工事を実施している。（資料7-1-④-3）

資料7-1-④-1

「福井工業高等専門学校特別支援室規則（抜粋）」

略

（設置）

第1条 本校に特別支援室（以下「支援室」という。）を置く。

（目的）

第2条 支援室は、心身に障害がある学生（それと同等と認められる者を含む。）の教育及び学生生活の支援について審議し、その結果、支援が必要と認められる学生（以下「要支援学生」という。）の修学環境の向上を図ることを目的とする。

（業務）

第3条 支援室は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 要支援学生の支援のための基本的事項に関すること
- (2) 要支援学生の支援に関する関係委員会等との連絡調整に関すること
- (3) 要支援学生の自立に向けての支援に関すること
- (4) 要支援学生の支援体制構築及び運用に関すること
- (5) 教員の要支援学生に対応する指導力の向上に関すること
- (6) その他要支援学生の支援に関し必要と認められること

略

（出典 総務課）

「特別支援室会議議事録」

平成23年度第1回特別支援室会議議事録

- 4、 日 時 : 平成23年4月4日 午後3時30分～4時30分
 5、 会 場 : 保健室
 6、 出席者 : 特別支援室員
 (教務主事)、(学生相談室長)
 (看護師)、(カンセラー)、(担任)

議 事

- 1、 気がかりな学生 () が入学した。
 保護者と面談時(3月31日)に作成したサポートシートを慎重に審議した結果、本校の特別支援室の支援を必要とすると判断した。
 (2) 学習支援
 (3) 生活支援
 について話し合いを行なった。
 3、 支援チームの立ち上げについて
 (1) 支援チームの会議
 日時: 平成23年4月6日 15:30～16:00
 会場: 大会議室

平成23年度第2回特別支援室会議 議事要旨

日 時 : 平成24年3月22日(木) 13:05～13:25
 場 所 : 保健室
 出席者 : () 特別支援室長、() 学生相談室長、() 看護師
 陪席 () 准教授(次期学生相談室長)、() 教務係長

審議事項

1. 福井工業高等専門学校特別支援室規則の改正について (資料1)
 特別支援室長から、平成24年度に車椅子の学生を受け入れることになり、発達障害を持つ学生について支援することになっている現行の規則を、肢体不自由の学生への支援も可能になるように拡大し、学習環境を適切に保つための規則としたい旨の説明があり、主旨について承認された。
 規則の改正案については、事務方で文言を検討し、作成することとなった。
 2. その他
 なし

平成24年度第1回特別支援室会議 議事要旨（案）

日 時 : 平成24年4月9日（月）14:30～15:00
 場 所 : 保健室
 出席者 : ■■■特別支援室長、■■■学生相談室長、■■■看護師、■■■カウンセラー
 陪席 ■■■教務係長

審議事項

1. 特別支援学生について （資料1）
 特別支援室長から、平成24年4月から肢体不自由で車椅子を使用する学生を受け入れたが、この学生の支援について検討したい旨の説明があった。看護師よりこの学生の状況について説明があり、検討した結果、特別支援室として支援チームにより支援することとなった。
2. その他
 特別支援室長から、福井高専特別支援室規則を改正した報告があった。

（出典 特別支援室）

資料7-1-④-3

「身障者対策について」

身障者対策について

緊急度	棟名称	階・場所	工事内容	工事金額	納期	工事期間
対応済	一般教育棟	1階南側出入口	段差解消		—	—
対応済	福祉施設	渡り廊下	排水目皿交換		—	—
対応済	福祉施設	渡り廊下	段差解消（溝埋め）		—	—
対応済	本館棟	1階教室等（2E1）	室名札取替		—	—
対応済	電子情報工学科棟	2階教室（F5）	室名札取替		—	—
対応済	構内舗装	避難経路	段差解消		—	—
対応済	一般教育棟	南側1階通路	照明器具増設、人感センサー		—	—
対応済	機械工学科棟	1階女子便所	ベット		—	—
対応済	機械工学科棟	1階女子便所	便器撤去等		—	—
			トイレブース取替	—	—	
小 計					7 件	

（出典 総務課）

外国人留学生に対しては外国人留学生委員会を設置（資料7-1-④-4）し、一人に対し指導教員・チュータをそれぞれ配置し、きめ細かい対応を行なっている。チュータは外国人留学生が所属する同一学級の寮生より選出し、「留学生チュータのしおり」（資料7-1-④-5～8）に基づいて5年次に進級するまでの間、学校生活・学寮生活にわたって支援を行っている。

外国人留学生に対しては、本科3学年編入学から5学年までは「外国人留学生特設科目」として、日本語・数学・物理・各学科専門科目の基礎を開設し、（資料7-1-④-9）に示すような単位の振替を行なっている。

略

- (1) 外国人留学生（以下「留学生」という。）の学習指導に関する事
- (2) 留学生の生活指導に関する事
- (3) その他留学生に関する事

略

(出典 本校規則集)

資料 7- 1- ④- 5

学籍番号	入学年度	学科・学年	氏名	生年月日	性別	区分	留学期間	国籍	指導教員	チューター	携帯番号	寮室	寮室	チューター・携帯番号
43161	21	機械工学科 5年	[redacted]	1989.8.7	男	マレーシア政府 派遣留学生	H21.4～24.3	マレーシア	[redacted]	/	[redacted]	南111	/	
43561	21	電子情報工学科 5年	[redacted]	1988.6.4	男	国費留学生	H21.4～24.3	モンゴル	[redacted]	/	[redacted]	南104	/	
43761	(21)	物質工学科 5年	[redacted]	1989.1.21	女	マレーシア政府 派遣留学生	H23.5～24.3	マレーシア	[redacted]	/	[redacted]	北218	/	
44161	22	機械工学科 4年	[redacted]	1990.3.15	男	マレーシア政府 派遣留学生	H22.4～25.3	マレーシア	[redacted]	[redacted] 光	[redacted]	南112	/	[redacted]
44861	22	電気電子工学科 4年	[redacted]	1990.5.24	男	国費留学生	H22.4～25.3	バングラデシュ	[redacted] 英	[redacted] 二	[redacted]	南110	/	[redacted]
44761	22	物質工学科 4年	[redacted]	1988.1.23	男	国費留学生	H22.4～25.3	モンゴル	[redacted] 貞之	[redacted] 希	[redacted]	南105	/	[redacted]
45161	23	機械工学科 3年	[redacted]	1991.1.31	男	マレーシア政府 派遣留学生	H23.4～26.3	マレーシア	[redacted]	[redacted]	[redacted]	南109	/	[redacted]
45761	23	物質工学科 3年	[redacted]	1990.6.4	男	国費留学生	H23.4～26.3	モンゴル	[redacted]	[redacted] 也	[redacted]	南106	/	[redacted]
A14117	23	専攻科 生産システム工学専攻1年	[redacted]	1985.11.09	男	私費留学生	H23.4～25.3	モンゴル	/	/	[redacted]	/	/	
予定	24	環境都市工学科 年	[redacted]	1990.6.18	男	国費留学生	H24.4～27.3	モンゴル	/	/	/	/	/	

(出典 学生課)

「留学生チューターのしおり」

留学生チューターをするにあたって

1. 目的について

留学生の学習効果の向上を図るために、授業内容及び生活全般について課外指導を行い、また、日本文化の理解を援助することを目的とする。

2. 心構え

- (1) お互いに人格を尊重し合い、友愛と信頼関係を築くよう努めてください。
- (2) 誠意をもって留学生に接し、留学生のよき理解者であると共に、良き助言者になるように努めてください。

3. 役割

(1) 学校生活

- ア. 留学生がクラスの中で孤立することなく、級友と仲良くやっていくことができるように配慮してください。
- イ. 講義や実験等に必要な準備物の指示や確認をしてください。
- ウ. 講義や実験等における留学生の疑問や質問に適切に助言をしてください。
- エ. 課題や宿題等の確認をしてください。
- オ. 試験勉強の方法を助言してください。
- カ. 日本語が上達するよう援助してください。

(2) 寮生活

- ア. 寮の規則及び生活時間について助言してください。
- イ. 寮生と留学生との交流が深まるように配慮してください。
- ウ. 留学生の安全、健康状態に留意し、異常があれば宿直教員、寮務主事、学生生活係（学寮事務室）、教務係（留学生担当）に連絡してください。
- エ. 学校内外の地理、文化、スポーツ行事についての情報を教えたり、買い物等で困ったことがあったら手助けしてください。

4. 指導報告書について

指導助言を行った場合は、指導した内容・時間等を業務実施確認表（チューターのしおり巻末）に詳しく記入して、指導教員を経て翌月の5日までに学生課教務係に提出してください。

（出典 学生課）

資料7-1-④-7

「留学生指導のためのマニュアル(学生寮関係)・英語版(抜粋)」

Rules and Regulations at Fukui Kosen Dormitory (Seibu-Ryo)

1. Outline

Fukui Kosen school dormitory, named "Seibu-Ryo," is made up of four buildings. Three of them are only for boys and the other is only for girls. The capacity for the boys is 193, whereas 53 girls can take lodgings. Students who are in the second year or older, including foreign students, have their solo rooms in which a desk, a chair, a bed and a locker are furnished. Students can share a dining room, chatting rooms, bathrooms, wash rooms, toilets, laundry rooms and the library in the dormitory building.

The following commodities are expected to be brought by individual students.

- (1) School supplies and stationery
- (2) Toiletries, change of clothes, and medicines
- (3) Electric appliances such as clocks, electric stands and hair dryers as well as computers
- (4) Bedding things such as *futon*, blankets and pillows (Rental service is available.)

Only in the rooms for foreign students internet connection is available.

2. Necessary expenses for lodging

The dormitory students need to pay the following expenses twice in a year, namely, in April and October.

- (1) Lodging fee: 800 yen per month
- (2) Utilities: 4,500 yen per month
- (3) Board: 23,000 yen per month (You don't have to pay the board if you don't use the school dining.)

(出典 学生課)

資料7-1-④-8

「チューター日誌例」

チューター日誌		チューター日誌	
チューター氏名	指導教員印	チューター氏名	指導教員印
留学生氏名		留学生氏名	
平成 23 年 4 月 12 日(火) 指導時間(16:00~17:00) 1. 授業指導 2. 生活指導 3. その他 館内市役所への外国人登録年令の支払免除の申請への同行		平成 23 年 4 月 14 日(木) 指導時間(16:00~16:30) 1. 授業指導 2. 生活指導 3. その他 図書館の場所、利用方法、時間の説明、授業ノートのとり方、クラスメイトについて	
平成 23 年 4 月 12 日(火) 指導時間(20:00~22:00) 1. 授業指導 2. 生活指導 3. その他 市役所及び学校の手続き類等の書き方の説明と手紙		平成 23 年 4 月 20 日(水) 指導時間(21:30~23:30) 1. 授業指導 2. 生活指導 3. その他 熱処理レポート作成の手紙、レポートの書き方の説明及び実験内容、原理についての解説、電気のまわりについての説明	
平成 23 年 4 月 13 日(水) 指導時間(16:30~17:30) 1. 授業指導 2. 生活指導 3. その他 学校の先生の研究室、学生課、トイレ、大講義室、体育館などの場所や利用目的の説明、売店への必要物品の注文		平成 23 年 4 月 25 日(月) 指導時間(20:30~23:30) 1. 授業指導 2. 生活指導 3. その他 レポート手紙の考察等の考え方の解説、文献の参考の仕方と引用の仕方の説明	
備 考		備 考	

(出典 学生課)

資料7-1-④-9

「平成23年度入学 留学生の修得単位」

1. 平成23年度入学 留学生の修得単位

			M	C
2年までのみなし修得単位a			70	70
3 年 次	振替単位(特設科目)		8	8
	履修猶予単位	一 般	0	0
		専 門	0	0
	実質履修単位	一 般	9	9
		専 門	20	21
	計 b		37	38
4 年 次	振替単位(特設科目)		2	2
	履修猶予単位	一 般	0	0
		専 門	0	0
	実質履修単位	一 般	6	6
		専 門	25	25
	計 c		33	33
5 年 次	振替単位(特設科目)		1	1
	履修猶予単位	一 般	0	0
		専 門	0	0
	実質履修単位	一 般	4	4
		専 門	24	23
	計 d		29	28
合 計 a+b+c+d			169	169

2. 振替単位(特設科目)

	授 業 科 目	振替年次	単位	振替科目
3 年 次	日本語Ⅰ	3	2	国語
	日本語Ⅱ	3	2	政治経済
	基礎数学	4	2	国語表現
	基礎物理	4	2	第2外国語
4 年 次	日本語Ⅲ	5	2	第2外国語
5 年 次	日本語Ⅳ	5	1	法学

3. 3年次 履修猶予単位

学 科	授業科目	単位
機 械 工 学 科	無	
電 気 電 子 工 学 科	無	
物 資 工 学 科	無	

4. 4年次 履修猶予単位

学 科	授業科目	単位
機 械 工 学 科	無	
電 気 電 子 工 学 科	無	
物 資 工 学 科	無	

5. 一般学生の修得単位

		M	C
2 年 次 ま で	一 般	53	53
	専 門	17	17
	計 a	70	70
3 年 次	一 般	13	13
	専 門	20	21
	計 b	33	34
4 年 次	一 般	10	10
	専 門	25	25
	計 c	35	35
5 年 次	一 般	7	7
	専 門	24	23
	計 d	31	30
合 計 a+b+c+d		169	169

※必要最小限の単位数

物質工学科4. 5年専門科目あわせて48単位以上

(出典 学生課)

一般高校からの本科4年編入学生に対しては、編入試験合格発表(8月)後、本校の学習・生活に関する資料を送付し、3月と4月に学習・生活に関するオリエンテーションを実施している。さらに数学や専門科目などを中心に、担当教員から必要に応じて個別指導を行なっている。

(分析結果とその根拠理由)

外国人留学生に対して、チュータの配置や留学生特設科目の設定により、学習支援体制は十分にとられている。編入生に対しても入学前の各学科の指導やオリエンテーションが十分に取られ、編入学後にも担任を中心に学習に対する支援を十分行なっている。心身に障害を有し、支援が必要と認められる学生についても、特別支援室を中心に支援が十分にとられている。

観点7-1-⑤： 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。

（観点に係る状況）

学生会は、学生会規約（資料7-1-⑤-1）沿って組織されている。学校では学生主事を中心に学生会をサポートする一方、すべてのクラブ活動に指導教員を1名以上配置している。現在クラブ活動を行なっている、部・同好会を記載したホームページの一部を（資料7-1-⑤-2）に示す。

資料7-1-⑤-1

「福井工業高等専門学校学生会規約（抜粋）」

第2章 会員の権利と義務

第3条 本会は、福井工業高等専門学校の学生全員を会員とする。

2 全学生は、会員としての権利を持つとともにその義務と責任を持たなければならない。

第4条 会員は、規約で定められた会費を納入する義務を負う。

第5条 会員が本会員として有する権利義務は、全く平等であり、学年、思想、性別、その他いかなる条件によっても差別をうけない。

第3章 機関

第6条 本会に次の機関を置く。

- 一 総会
- 二 評議会
- 三 役員会
- 四 運営委員会
- 五 体育委員会
- 六 文化委員会
- 七 厚生委員会
- 八 選挙管理委員会
- 九 監査委員会
- 十 学級会
- 十一 部門会

（出典 平成24年度学生便覧，p.132）

「部活動の紹介」



独立行政法人 国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校 FUKUI NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

学校案内

学科紹介

入試情報

中学生の方へ

企業の方へ

在学生の方へ

卒業生の方へ

HOME > 中学生の方へ > 高専って楽しい！ > 部活動の紹介

部活動の紹介

部活動として体育部が20、文化部が7、同好会17があります。
3年間は高校と同様に地区大会に出場します。
4・5年生になると高専の大会に出場することになります。







部活動の紹介

【主な部活動】

男子バスケットボール部	打倒！金沢高専を目標に頑張っています。 顧問 山田孝禎、米田知晃、阿部 孝弘 活動日 月～金曜日 放課後（水曜日はオフ） 土日・祝日 練習試合を頻繁に行っている
女子バスケットボール部	基礎練習、体力づくりが中心となった、充実した練習を行っています。 顧問 江本晃美、米田知晃、荻野繁春 活動日 月曜日 16:30～18:30 水曜日 16:00～18:30 木曜日 15:00～17:00
男子バレーボール部	高校の大会・高専の大会・大学の大会・社会人の大会と広範囲で活躍中です。 顧問 朝倉相一、村田知也

中学生の方へ

- 学科紹介
- 機械工学科
- 電気電子工学科
- 電子情報工学科
- 物質工学科
- 環境都市工学科
- 工学基礎コース
- 一般科目教室
- 学校行事・課外活動
- 学費・学寮・奨学金etc
- 福井高専のラジオ番組
- 高専ライブ
- 高専って楽しい！
- 高専生的一天
- 修学旅行/工場見学
- 高専祭って楽しすぎ！
- 部活動の紹介
- めざせロボコン全国制覇！
- こんなことやってます
- 会社の星になる！
いま
-卒業生の現在-



福井高専の歩き方

(出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/junior/enjoy/club.html>)

このようなクラブ活動の運営金は学生会活動として行われ、これらの部活動補助の学生会活動全体における状況を（資料7- 1- ⑤- 3）に示す。

資料7- 1- ⑤- 3

「平成23年度・学生会修正決算」

平成23年度 学生会修正決算

平成24年 3月 31日現在

収入の部

科目	予算額	収入済額	備考
学生会費			100円×993名 298,800円(3名追加)
教育後援会費			支出の部 課外活動補助費に使用
利息			200円追加
繰越金			平成23年度体育祭の学科補助の余り 100円を追加
合計			

支出の部

科目	予算額	支出済額	備考
部活動補助			内訳は別紙
体育委員会補助			平成23年度体育祭 100 平成24年度体育祭前払い金 100 球技大会 100
文化委員会補助			内訳は別紙
高専祭補助			
厚生委員会補助			高専祭の厚生費も支出(内訳は別紙)
青塔作成費			青塔1,050部作製費 10,500円追加
広報活動補助			高専祭ポスター作成費
ボランティア活動費			クリーン大作戦の費用(内訳は別紙)
学生会活動費			学生会室ウッドカーペット代 100 学生会室テーブル代 100 用紙・インク代 100 プリンター代 100 ラミネーター代 100 電話代 28,264円 手数料 14,070円 電話代 100円追加 手数料 100円追加 インク代 100円追加 時計代 100円追加 学生会室テーブル・いす代 100円追加 イヤホンマイク代 100円追加
課外活動補助			課外活動遠征・宿泊費等 100円追加
緊急用補助			
予備費			
合計			

※次年度繰越金 (収入) - (支出) = 100
よって、100 を次年度に繰越す。(緊急用補助 100 含む)

(出典 学生課)

（分析結果とその根拠理由）

学生のクラブ活動や学生会の課外活動に対する支援は整備され、機能しているといえる。その根拠理由として、学生の課外活動に学校全体として取り組み、全教員のほとんどが何らかの形で学生の課外活動を支援している。

観点7-2-①： 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

（観点に係る状況）

学生の生活，経済面での指導・相談・助言は，直接は各学級担任が担当し，必要に応じて学生主事を中心とした補導委員会全体で支援を行う（資料7-2-①-1）。専攻科では，各専攻の2名の専攻科主任が学生の指導や助言にあたっている。奨学金や授業料に関する情報（資料7-2-①-2）は，担任経由もしくは学内掲示板・ホームページなどを用いて学生に伝えられ，学生課学生生活係で対応を行なっている。

資料7-2-①-1

「福井工業高等専門学校補導委員会規則（抜粋）」

（審議事項）

第2条 委員会は、校長の命を受けて次の事項を審議する。

- (1) 学生の保健管理に関する事項
- (2) 学生の福利厚生に関する事項
- (3) 学生の規律及び風紀に関する事項
- (4) 学生の育英奨学に関する事項
- (5) 学生会に関する事項
- (6) その他学生の補導に関する重要な事項

（組織）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学生主事
- (2) 寮務主事
- (3) 学生主事補
- (4) 学級担任
- (5) 学生課長

2 委員会に委員長を置き、学生主事をもって充てる。

3 校長は、第2条第6号のうち、専攻科生と関連する事項を審議する場合は、委員会に専攻科委員会委員を加えるものとする。

4 委員長は、委員会に委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

（出典 本校規則集）

「就学支援金・授業料に関する情報」

就学支援金・授業料に関する情報

福井高専

[ホーム |](#)

- [平成24年度前期分授業料免除について\(2012.1.13\)](#)
- [家計が急変した学生に対する授業料免除について\(2011.11.7\)](#)
- [保護者が失職した学生に対する授業料免除について\(2011.11.7\)](#)
- [本科3年に対する授業料免除について\(2011.11.7\)](#)
- [高等学校等就学支援金加算支給申請に関する手続きについて\(2011.6.3\)](#)
[【第1学年】](#) [第2・第3学年](#)

●Poster

- [就学支援金\(文部科学省\)チラシ\(pdf\)](#)

(出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/support/index.htm>)

近年の経済状況の悪化や自然災害に伴う保護者の失職等により、就学が困難となる事例も増え、様々な緊急的事由に対応した入学料免除・入学料徴収猶予・授業料免除などの制度がとられている。

(分析結果とその根拠理由)

学生の生活に関する指導・助言は、教職員が一丸となって対応をしており、特に学級担任を中心としたきめ細かい指導が行われている。経済的な支援でも、様々な事由に対応した授業料免除などの制度が実施されている。

観点 7-2-②： 特別な支援が必要と考えられる学生への生活支援等を適切に行うことのできる状況にあるか。また、必要に応じて生活支援等が行われているか。

(観点に係る状況)

観点7- 1- ④で既に示したように、身体に障害を持つ学生への支援として、傷患者用トイレ施設の充実や段差解消スロープなどのバリアフリー化がとられている。これらの対応の結果、平成24年度には車椅子学生の入学者も受け入れている。

外国人留学生については観点7- 1- ④で既に示したように、外国人留学生委員会を設置し、各外国人留学生1人にチュータを任命することで、学習面に加え学寮生活についても支援にあたっている。学寮でも食習慣の違いに対応するために留学生のための捕食談話室を設け、冷蔵庫・システムキッチン・食器棚・コンロを設置している。生活習慣の違いにも対応するために、留学生専用のシャワー室などを設けている。

私費留学生については、一般学生と同様な入学料免除・授業料免除に加え、様々な奨学金取得に向け指導を行なっている。さらに、学寮以外の住居を利用する場合は、外国人留学生機関保証制度により支援を行なっている。（資料7-2-②-1,2）

さらに日本での文化や生活を理解するために、見学旅行やスキー体験といった研修も実施している。
(資料 7- 2- ②- 3)

資料 7- 2- ②- 1

「私費留学生に対する財政支援について」

私費留学生に対する財政支援について

該当者：[REDACTED]

- ・平成23年度 入学料徴収猶予申請（専攻科）…学業基準が基準に達しないため不許可
- ・平成23年度 授業料免除（前期分）申請…学業基準が基準に達しないため不許可
- ・平成24年度 授業料免除（前期分）申請中
- ・平成23年度公益財団法人ウシオ財団奨学金採用（給付型）
月額 60,000 円 年額 720,000 円
受給期間 平成23年4月～平成25年3月

(出典 学生課)

資料 7- 2- ②- 2

「外国人留学生機関保証制度利用申請書」

(別紙様式1)

福井工業高等専門学校外国人留学生機関保証制度利用申請書

平成 23 年 4 月 6 日

福井工業高等専門学校

殿

所 属 生産工学部 機械工学科 1 年次氏 名 山本 太郎サイン 山本 太郎

私は、下記のとおり福井工業高等専門学校外国人留学生機関保証制度を利用したいので、別紙誓約書を添えて申請いたします。

記

利用目的	☒ (1) 住宅の賃貸借契約 ☐ (2) その他 ()
利用期間	平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日
契 約 先	契約先名 <u>株式会社 福井市信用金庫</u> 代表者名 <u>山本 太郎</u> 住 所 <u>福井県鯖江市細馬 1-1-1</u> T E L <u>(0776) 52-1111</u> F A X <u>(0776) 52-1111</u>
添付書類	☒ (1) 賃貸借契約書 留学生住宅総合補償加入者証 (写) ☐ (2) その他 ()
現在の住居	住 所 <u>福井県鯖江市細馬 1-1-1</u> T E L <u>(0776) 52-1111</u>

(出典 学生課)

「外国人留学生在スキー・スノーボード体験ツアーを行いました」

外国人留学生在スキー・スノーボード体験ツアーを行いました



平成24年2月25日（土）に、本校の外国人留学生に、本国では見ることができない沢山の雪を体感してもらい、スキーやスノーボードの体験及び本校留学生関係者との親睦を図るため、SKI JAM勝山で「留学生スキー・スノーボード体験ツアー」を行いました。留学生の中には初スキーの学生もいましたが、初リフトも経験し、天気が悪いにもかかわらず楽しい1日を過ごしました。

（出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/info/news/detail.php?id=416>）

（分析結果とその根拠理由）

障がい者のためのバリアフリー化も主要施設では完備され、学内の生活支援は充実している。外国人留学生などの生活面でも、担当の学生チュータを任命することで十分な生活支援を行なっている。

観点7-2-③： 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の間として有効に機能しているか。

(観点に係る状況)

自宅が遠方で通学が困難な学生のために、245名を収容可能な学生寮を設置している(資料7-2-③-1, 2)。

資料7-2-③-1

「学寮(青武寮)」

○学寮(青武寮)

高専構内に学寮4棟があります。収容定員は245名で、東寮、西寮、南寮、北寮となっています。東寮、南寮(1人部屋及び2人部屋)と西寮(4人部屋)は男子寮で、北寮(1人部屋及び2人部屋)は女子寮です。

日野山が一望でき、すぐ横を日野川が流れていて、明るい環境で快適な生活が送れるよう配慮してあります。高専の寮は、寮生の自主性を重んじつつ、規律ある生活が送れるように、全教員が交替で寮監として泊まります。

■学寮の諸経費のおおよその内訳

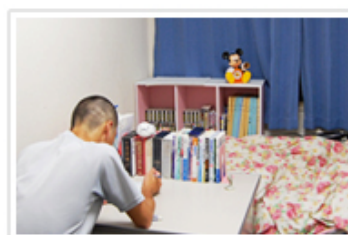
寄宿費	800円(月額)
食事費	23,000円(月額)
寮費	4,500円(月額) (冬季は暖房費も必要です)



南寮



東寮



寮室内

(出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/junior/course/support.html>)

資料7-2-③-2

「平成24年度 在籍寮生数」

平成24年度在籍寮生数

平成24年4月1日現在

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	合 計
学科						
機 械 工学科	14 (1)	11	9 (1)	12	13	59 (2)
電気電子工学科	12	10 (2)	9 (1)	10 (2)	8	49 (5)
電子情報工学科	10 (2)	9 (2)	6	6 (1)	3 (1)	34 (6)
物 質 工学科	7 (2)	12 (7)	8 (3)	9 (4)	8 (1)	44 (17)
環境都市工学科	10 (4)	10 (2)	6 (1)	7	6 (2)	39 (9)
合 計	53 (9)	52 (13)	38 (6)	44 (7)	38 (4)	225 (39)

()は女子で内数

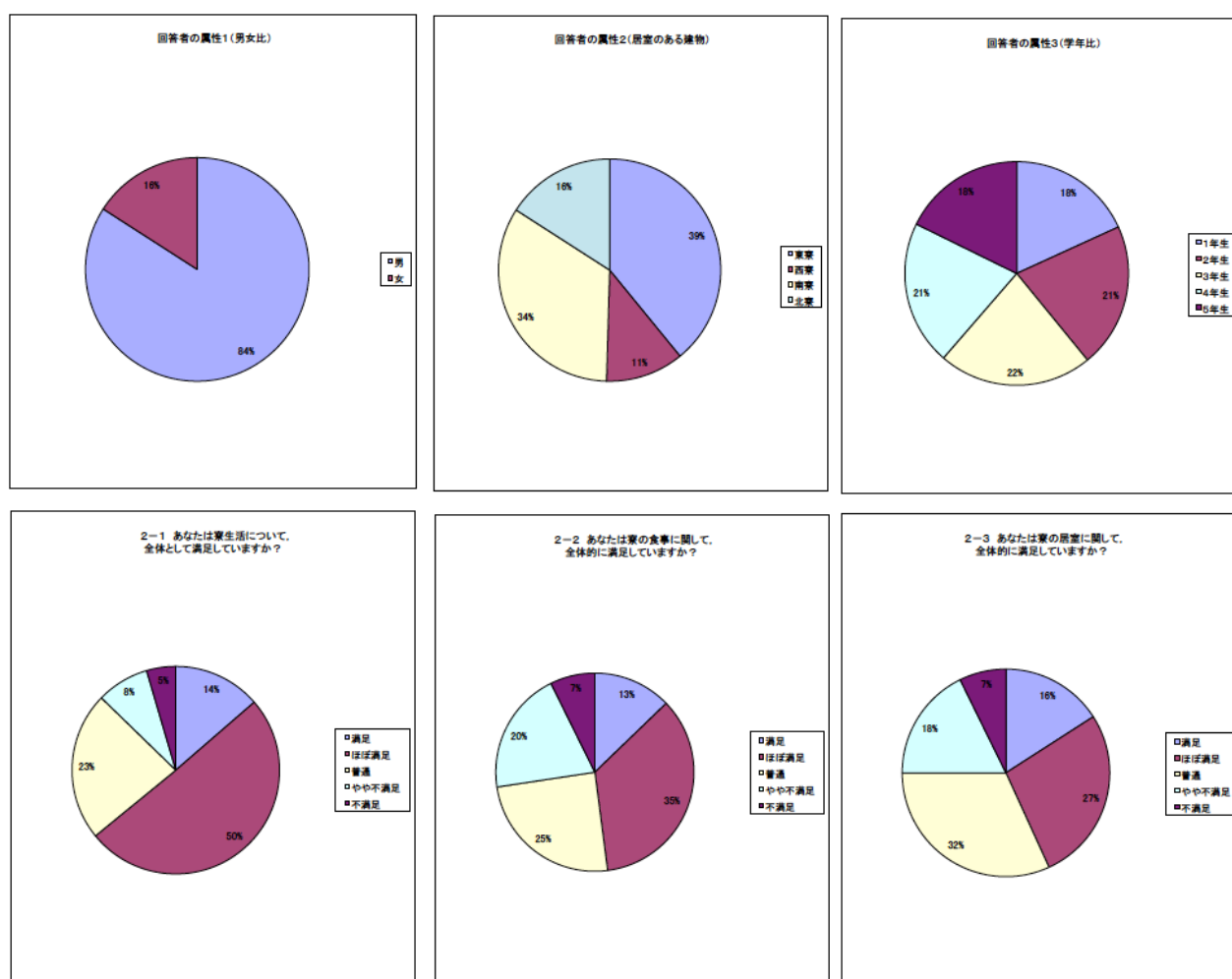
(出典 学生課)

学寮については、寮務主事が中心となり、学寮運営委員会、寮務主事団、学生課学生生活係がその運営にあたっている。学寮は学校敷地内にあることから、学習・部活動に対する利便性に富む。居室についても学寮内での友人関係を構築するための本科1年を除き個室となっている。平成22年度からは北寮棟を女子専用棟としたことから女子入寮希望者も増え、例年入寮希望者が多い状態が続いている。平日は全教員交代による2名宿直体制をとり、生活面での指導など支援体制も充実している。学習環境としても、学寮図書室に学習環境及びインターネット端末を提供している。これらの生活環境については、教育環境アンケート内に寮生活の回答を設けて、生活環境改善に取り組んでいる。

(資料7-2-③-3)

資料7-2-③-3

「平成22年度学寮運営委員会資料・学寮のアンケート結果」



(出典 学生課)

(分析結果とその根拠理由)

寮務主事を中心とした教職員の支援に加え、全教員交代による宿日直により、寮学生の生活や勉学の支援・指導が十分に行われている。学寮生活についても教育環境アンケートの意見要望を踏まえ、学寮生による自治会である寮生会と情報交換をとりながら、生活改善に取り組んでいる。

観点7-2-④： 就職や進学等の進路指導を行う体制が整備され、機能しているか。

（観点に係る状況）

学生の就職・進学を支援するために進路指導委員会を設置し（資料7-2-④-1），教務主事・学生主事・学科長・学級担任や専攻科委員などを交え，進学・就職に関する情報意見交換をとりながら，学級担任が中心となって進路指導を行なっている。学級担任は，保護者を交えた進路相談，応募資料の添削，面接の練習など進路の選択から応募まできめ細かな指導（資料7-2-④-2）を行なっている。進路指導委員会では，本科4年及び専攻科1年を対象とした校外研修・インターンシップでの情報交換や，キャリア教育セミナー等の企画運営を行なっている（資料7-2-④-3，4）。就職・進学の事務手続きの一本化のために進路指導室を設け，求人企業との対応や，学生の求人・進学の対応を行なっている。

資料7-2-④-1

「福井工業高等専門学校進路指導委員会規則（抜粋）」

（審議事項）

第2条 委員会は、校長の命を受けて次の事項を審議する。

- (1) 学生の進学に関する事項
- (2) 学生の就職に関する事項
- (3) 学生のキャリア教育・職業教育に関する事項
- (4) その他校長が特に諮問した事項

（組織）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教務主事
- (2) 学生主事
- (3) 専攻科長
- (4) 学科長及び教室主任
- (5) 専攻科委員会委員
- (6) 第1学年から第5学年の学級担任
- (7) 学生課長
- (8) その他校長が特に必要と認めた者

2 前項第8号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

（出典 総務課）

「オフィスアワーの実施例」

5月⁺

630分、19件

- 5EI: 就職の面接練習(15分) -- t-saitoh 2011-05-31 (火) 15:09:33
- 4EI: 創造工学の相談対応(10分) -- t-saitoh 2011-05-30 (月) 17:46:08
- 5EI: 就職について保護者と面談(60分) -- t-saitoh 2011-05-30 (月) 13:32:44
- 4EI: 創造工学レポートのダメだし(120分) -- t-saitoh 2011-05-27 (金) 17:51:39
- 5EI: 卒研室内の中間発表(90分) -- t-saitoh 2011-05-27 (金) 15:22:29
 - H:JavaScript?+クラウド+Javaオブジェクト指向
 - M:JavaScript?+クロージャ
- 5EI: 大学編入面接練習(15分) -- t-saitoh 2011-05-27 (金) 15:21:52
- 5EI: 就職2次募集状況の確認3件(30分) -- t-saitoh 2011-05-26 (木) 18:10:41
- 5EI: 大学面接の練習(90分) -- t-saitoh 2011-05-25 (水) 16:13:20
- 5EI: 就職結果の連絡(5分) -- t-saitoh 2011-05-25 (水) 08:47:20
- 5EI: 内定書の受け渡し(5分) -- t-saitoh 2011-05-18 (水) 17:47:25
- 4EI: 実験レポートの受け取り(5分) -- t-saitoh 2011-05-18 (水) 17:46:49
- 5EI: 単位振替の確認(10分) -- t-saitoh 2011-05-18 (水) 17:46:19
- 4EI: 実験レポートの受取り5分×4人=20分 -- t-saitoh 2011-05-17 (火) 21:39:50
- 3EI: proxyサーバの導入に関する質問(30分) -- t-saitoh 2011-05-17 (火) 21:36:08
- 5EI: レポート印刷(5分) -- t-saitoh 2011-05-17 (火) 21:35:36
- 5EI: 英語単位振替のトラブル対応(5分) -- t-saitoh 2011-05-17 (火) 21:35:09
- 5EI: 就職情報の説明(20分) -- t-saitoh 2011-05-17 (火) 21:34:49
- 5EI: TKG面接練習(40分) -- t-saitoh 2011-05-17 (火) 21:34:14
- 5EI: MTY面接練習(60分) -- t-saitoh 2011-05-17

4月⁺

90分、2件

- 5EI: 就職面接の練習(60分) -- t-saitoh 2011-04-13 (水) 17:08:43
- 5EI: 応募書類の作成(30分) -- t-saitoh 2011-04-13 (水) 17:08:21

(出典 電子情報工学科)

「平成23年度進路指導委員会幹事会（第3回）議事要旨（抜粋）」

議 題

1. キャリア教育セミナー（合同企業説明会）について （資料）

委員長から、資料に基づき225社へ案内を送付したところ、165社から回答があり、現在のところ62社が参加予定であるとの報告があった。

昨年度実施の合同企業説明会より企業の参加が少なくなった理由としては、同日に行われる校外研修の企業担当者がキャリア教育セミナーの担当でもあること、「キャリア教育セミナー」に名称を変更したことで、理解しにくかったことが挙げられるとの説明があった。

2. 平成23年度大学・大学院合同説明会について （資料）

委員長から、参加大学数、幹事会委員の役割について検討したい旨の説明があり、山本委員からの資料（席上配付）説明により検討した。

9大学に対して案内を送付し、説明の順番は本校の学生を受け入れている実績の多い順とすることとし、業務分担は資料のとおりとすることとなった。

3. 来年度の行事日程について（特にキャリア教育セミナーが2年生の企業訪問と重複）

委員長から、平成24年度の行事日程について決めたい旨の説明があり、「キャリア教育セミナー」については、12月初めの後期中間試験終了後の最初の土曜日に実施すること、「大学・大学院合同説明会」については、今年度と同時期に実施することで承された。

（出典 進路指導委員会）

「第6回キャリア教育セミナーを開催しました」

第6回キャリア教育セミナーを開催しました



2月13日、福井県求職者支援センター滝尾敏顕氏を講師にお招きし、本科4年生及び専攻科1年生を対象に、「面接の心構えについて」と題してキャリア教育セミナーを開催しました。進路決定を間近に控えた学生は、昨今の就職事情を考えてか、会場は静まりかえって講演に聴きいていました。

講演では、「仕事の目的を何に求めるか」、「自分が好きなことは何か」、「自分として得意なことは何か」を自己分析し、「就職目標をいくつか立てること。第一目標でなくとも、内定を受けた会社が適職となる職場であり、適職とは、自分で作り上げていかなければならないこと」を切実に伝えられ、さらに、就職面接の際の極意や心得についても伝授していただき、面接における基本動作やマナーなど心構えを学ぶ貴重な経験となりました。

(出典 本校ホームページ <http://www.fukui-nct.ac.jp/info/news/detail.php?id=413>)

(分析結果とその根拠理由)

学生の就職や進学では進路指導委員会が中心となり、早期の就学就業意識付けのためのインターンシップや進路指導セミナーなどを実施している。さらに、求人企業との対応や進学就職希望学生の対応を行うために進路指導室を設け、教員及び事務職員のきめ細かな対応を行うための体制が整備され、就職進学学生は、進路指導室を積極的に利用し様々な情報を活用している。

（２）優れた点及び改善を要する点

（優れた点）

学生の学習活動・生活に対する支援は優れていると言える。また、留学生などの特別な支援が必要な学生についても、様々な支援体制が十分に整っている。

（改善を要する点）

該当なし。

（３）基準7の自己評価の概要

学生に対する学習支援として、シラバスの公開などホームページを中心に必要な情報が得られるようになっている。学生の学習指導面でも、約40人のクラスに対し学級担任を配置し、学習・生活の両面できめ細かな対応ができています。自主的な学習環境として、図書館や総合情報処理センターなどの施設も充実している。これらの改善のために毎年度、教育環境アンケートを実施し、要望を把握して対応するための体制も充実している。

近年は、資格取得や留学経験のための支援として様々な取り組みが行われている。資格では学生の資格取得状況を把握や受験の支援なども積極的に行われている。留学については交換留学制度による派遣制度にも取り組んでいる。外国人留学生の受入にあたっては、学習と生活の両面から支援するためのチュータ制度によりきめ細かな指導が行われている。

遠隔地出身の学生への支援として学生寮を設置し、寮務委員会に加え全教員交代による宿日直が実施されている。学生の進路指導でも、進路指導委員会と担任の協力の下、学生の状況を把握したきめ細かな指導が行われている。

